



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure,
Transport and Tourism

記者発表資料

平成29年 7月 7日
福島河川国道事務所

7年連続 荒川(福島市)が「水質が最も良好な河川」を維持 ～平成28年の国土交通大臣管理区間の河川水質調査結果から～

国土交通省では、昭和33年（東北地方：昭和35年）から一級河川（大臣管理区間）において水質調査を実施しています。

平成28年（1月～12月）の水質調査結果が発表（7月7日）され、荒川が7年連続で「水質が最も良好な河川」になりました。

【水質調査対象河川の条件と評価基準】

■全国の163河川のうち、以下の条件を満たす河川を対象とします。

- ・一級河川本川：国土交通大臣管理区間に調査地点が2つ以上ある河川。
- ・一級河川支川：国土交通大臣管理区間の延長が概ね10km以上で、かつ調査地点が2つ以上ある河川。

荒川：直轄管理区間延長13.0km、荒川橋と信夫橋の2地点で測定。

■各調査地点でのBOD（生物化学的酸素要求量）の年間平均値が0.5mg/l（環境省が定めるBODの報告下限値）である河川を、「水質が最も良好な河川」としています。

荒川のBOD H28：0.5mg/l（H27：0.5mg/l）

※7年連続での「水質が最も良好な河川」の維持は、流域の皆様の河川愛護意識の高揚、官民一体での水質改善への取り組みの成果と考えられます。
引き続き、ご協力等お願いします。

※同日付で、国土交通本省（全国版）・東北地方整備局においても記者発表をしています。

<<発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ >>

< 問い合わせ先 >

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島市黒岩字榎平36番地

TEL 024 (546) 4331 (代表)

副所長（河川） 佐藤 勝美（内線204）

河川管理課長 平館 淳一（内線331）

平成 28 年

全国

一級河川の水質現況

Recent conditions of water quality of class A rivers in Japan

2016

利根川水系坂川

特集

松戸宿坂川献灯まつり

- 先人と自然の恵みに感謝 -

「日本の清流」

荒川 [東北地方]

「清流」から生まれた名産品

安倍川 [中部地方]

「水質だより」

石手川 [四国地方]

平成 28 年水質調査結果

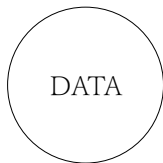
感覚的な水質指標による調査結果

水質事故等の状況

水難事故防止 ライジャケ・オン!



CONTENTS



科学的調査

平成 28 年水質調査結果

- 04 **DATA** 水質が最も良好な河川 2016
- 05 **DATA** 水質が最も良好な河川 2007-2016
- 06 **DATA** 過去 10 年間の水質改善状況
- 07 **DATA** 環境基準（BOD 等）の満足状況



感覚的調査

感覚的な水質指標による調査結果

- 09 **DATA** 泳ぎたいと思うきれいな川
- 10 **DATA** 感覚的な水質指標による調査結果参加者数
- 11 **DATA** 参加者数 BEST5 地点の紹介



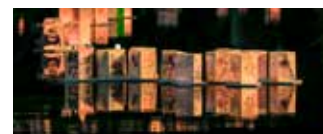
水質事故等の状況

- 12 **DATA** 水質事故等の状況

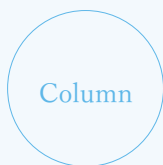


利根川水系坂川

- 14 **坂川献灯まつり**
- 先人と自然の恵みに感謝 -



自然の恵みや先人達への敬意を「あかり」に託す
(写真提供：松戸宿坂川献灯まつり実行委員会)



- 16 「日本の清流」  [東北地方] **荒川**

- 17 「清流」から生まれた名産品  [中部地方] **安倍川**

- 18 「水質だより」  [四国地方] **石手川**



(写真提供：静岡市)

- 19 水難事故防止 

【科学的調査】 河川の汚濁状況等を科学的手法で行う調査

【感覚的調査】 ゴミの量や水のおいなどを人の諸感覚を用いて行う調査



科学的調査

平成 28 年水質調査結果

公害問題が顕在化してきた昭和 40 年代以降、水質汚濁が進み、「汚い、臭い、遊べない」といわれる河川が全国に多くありました。国土交通省が河川の水質について、年単位(1月～12月)でのとりまとめを始めた昭和 46 年当時、BOD 平均値が 5.0mg/ℓ を超え、水質改善が急務であった地点は、一級河川の全調査地点の 27% を占めていました。

しかし、このような一級河川の水質も、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の推進により徐々に良くなっています。例えば、昭和 40 年代の多摩川は水質悪化が進み、洗剤の泡が浮く汚れた河川でした。昭和 50 年代後半には、アユの遡上が確認されるまでに水質が良くなり、近年では、清流といわれている四万十川の水質にも迫る良好な水質となっています。また、綾瀬川や大和川は、昭和 40 年代の都市化の進展に伴う水質汚濁が著しく、BOD 値が 30mg/ℓ を超えていましたが、水質改善の取組みにより確実に良くなりました。特に大和川では、平成 28 年の代表地点の BOD 値が 2mg/ℓ となり、アユの遡上も確認されるようになっています。

こうした水質改善の背景には、排水規制や下水道整備のみならず、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取組みや、流域でのクリーン活動等の啓発活動といった、流域の人々の様々な活動があります。これからも水質を維持・改善していくためには、このような各地域における努力を持続・発展させることが重要です。



科学的調査

THE BEST 18 河川

水質が最も良好な河川 2016

平成 28 年の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川は以下のとおりです。

BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

地方名	河川名			都道府県名
北海道	尻別川	シリベツガワ	（尻別川水系）	北海道
北海道	後志利別川	シリベシトシベツガワ	（後志利別川水系）	北海道
北海道	鶴川	ムカワ	（鶴川水系）	北海道
北海道	沙流川	サルガワ	（沙流川水系）	北海道
東北	荒川	アラカワ	（阿武隈川水系）	福島県
東北	NEW 玉川	タマガワ	（雄物川水系）	秋田県
中部	安倍川	アベカワ	（安倍川水系）	静岡県
中部	NEW 櫛田川	クシダガワ	（櫛田川水系）	三重県
中部	宮川	ミヤガワ	（宮川水系）	三重県
近畿	北川	キタガワ	（北川水系）	福井県
中国	小鴨川	オガモガワ	（天神川水系）	鳥取県
中国	NEW 佐波川	サバガワ	（佐波川水系）	山口県
四国	仁淀川	ニヨドガワ	（仁淀川水系）	高知県、愛媛県
九州	厳木川	キュウラギガワ	（松浦川水系）	佐賀県
九州	球磨川	クマガワ	（球磨川水系）	熊本県、宮崎県、鹿児島県
九州	川辺川	カワベガワ	（球磨川水系）	熊本県
九州	小丸川	オマルガワ	（小丸川水系）	宮崎県
九州	五ヶ瀬川	ゴカセガワ	（五ヶ瀬川水系）	大分県、宮崎県、熊本県

NEW： 過去 10 年間で初めて「水質が最も良好な河川」となった河川

【「水質が最も良好な河川」の定義】

以下の条件を満たす 163 河川のうち、各調査地点の BOD 年平均値による平均が 0.5 mg/ℓ（環境省の定める BOD の報告下限値）であるもの

- ・ 一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
- ・ 一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。



科学的調査

水質が最も良好な河川 2007 - 2016

星印：「水質が最も良好な河川」となった年
(西暦下2桁)

平成 19-28 年水質調査結果



2007-2016年(平成19-28年)の10年で、
4回以上「水質が最も良好な河川」となった河川(12河川)を紹介します



尻別川

(尻別川水系)

北海道



後志利別川

(後志利別川水系)

北海道



黒部川

(黒部川水系)

富山県



北川

NEW

(北川水系)

福井県

高津川

(高津川水系)

鳥根県



仁淀川

(仁淀川水系)

高知県



荒川

(阿武隈川水系)

福島県



安倍川

(安倍川水系)

静岡県



五ヶ瀬川

(五ヶ瀬川水系)

宮崎県



宮川

(宮川水系)

三重県



川辺川

(球磨川水系)

熊本県

平成28年

東北地方 一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Tohoku

2016

特集

高瀬川

—地域と連携した
水質環境保全の取り組み—

コラム

岩木川（弘前市）

～弘前城周辺の水環境を

改善する取り組み～

水質調査結果

新しい水質指標による調査結果

人の健康の保護に関する環境基準

ダイオキシン類等の実態調査結果

水質事故の状況

河川ゴミ発生源別分類調査結果

CONTENTS

特集

高瀬川－地域と連携した

水質環境保全の取り組み……………01

平成 28 年水質調査結果……………04

主要河川の地点別年平均水質……………05

生活環境の保全に関する環境基準の満足状況……………06

コラム

岩木川（弘前市）

－「弘前城周辺の水環境を改善する取り組み－

……………08

新しい水質指標による平成 28 年調査結果……………10

新しい水質指標について……………11

平成 28 年ダイオキシン類・内分泌かく乱物質の実態調査結果……………18

ダイオキシン類実態調査結果……………19

内分泌かく乱物質実態調査結果……………19

水質事故等の発生状況……………20

水質事故等の発生状況……………21

河川ゴミ発生源別分類調査結果……………23

河川ゴミ発生源別分類調査結果……………23

用語の解説……………26

平成 28 年水質調査結果

2016 年は東北地方の一級河川（直轄管理区間）において阿武隈川水系荒川が「平均的な水質が最も良好な河川」を維持しています。

河川の水質は、各河川によって状況は異なりますが、主に工場排水や家庭排水が汚染源となり、河川の流況（流量の多い・少ない）にも影響を受けるものもあります。

現在、一級河川の水質は、これまでの排水規制、下水道整備、地域毎の水質改善に関する取り組みによりかなり改善されてきています。

主要河川の地点別年平均水質

平成 28 年水質調査結果

- ・阿武隈川水系荒川が 7 年連続で「平均的な水質が最も良好な河川※」を維持
- ・H 2 8 年は新たに雄物川水系玉川も「平均的な水質が最も良好な河川※」となりました。

表-1 平成 28 年の東北地方 20 河川の地点別年平均値

水系名	河川名	調査地点		各地点のBOD年平均値
		地点数	府県名	
阿武隈川	阿武隈川	7	宮城・福島	須賀川 0.8 阿久津 0.9 高田橋 2.1 黒岩 1.4 伏黒 1.2 丸森 1.7 岩沼 1.3
阿武隈川	荒川	2	福島	荒川橋 <0.5 信夫橋 <0.5
名取川	名取川	2	宮城	名取橋 1.3 閑上大橋 1.1
鳴瀬川	鳴瀬川	4	宮城	三本木 1.0 下中ノ目 1.0 南郷 1.1 小野 1.1
鳴瀬川	吉田川	2	宮城	落合 1.7 鹿島台 1.6
北上川	北上川	16	岩手・宮城	船田橋(2) 0.7 四十四田橋(2) 0.6 南大橋 0.7 紫波橋 1.3 朝日橋 1.8 昭和橋 1.7 珊瑚橋 1.0 金ヶ崎橋 1.0 藤橋 1.0 狐禅寺 1.2 北上大橋 1.2 北上川橋 1.0 大泉 0.8 登米 0.9 飯野川 1.1 飯野川橋 0.8
北上川	旧北上川	3	宮城	和浏 0.7 鹿又 0.9 門脇 1.0
北上川	江合川	4	宮城	轟 0.6 荒雄 0.8 短台 1.0 大深沢 0.7
北上川	和賀川	2	岩手	山室橋 0.9 九年橋 0.7
北上川	猿ヶ石川	2	岩手	落合橋 0.8 安野橋 1.2
北上川	胆沢川	2	岩手	再巡橋 0.7 下嵐江 0.5
馬淵川	馬淵川	3	青森	櫛引橋 1.1 尻内橋 1.0 大橋 1.0
岩木川	岩木川	12	青森	上岩木橋 0.8 安東橋 0.8 幡龍橋 1.4 鶴寿橋 1.9 乾橋 2.0 三好橋 1.6 神田橋 1.5 津軽大橋 1.5 十三湖大橋 1.2 十三湖中央 2.2 山田川河口 3.0 鳥谷川河口 2.7
米代川	米代川	5	秋田	十二所 0.6 新真中橋(真中橋) 0.6 鷹巣 0.7 二ツ井 0.6 能代 0.6
雄物川	雄物川	5	秋田	酒蔭橋 0.5 雄物川橋 0.7 大曲橋 0.7 岳見橋 0.6 椿川 0.6
雄物川	玉川	2	秋田	長野 0.5 玉川橋 0.5
子吉川	子吉川	2	秋田	宮内 0.6 本荘大橋 0.6
最上川	最上川	8	山形	糠野目 1.3 小出 1.1 下野 1.5 稲下 1.5 堀内 0.8 高屋 0.8 砂越 0.7 両羽橋 0.8
最上川	鮭川	2	山形	八千代橋 0.6 戸沢橋 0.6
赤川	赤川	3	山形	東橋 0.5 蛾眉橋(横山) 0.8 新川橋(浜中) 0.8

※「平均的な水質が最も良好な河川」とは、以下の条件を満たす河川のうち、各調査地点の BOD 年平均値の平均が 0.5mg/l (環境省の定める BOD の報告下限値) である河川としている。
 ・一級河川(本川)：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
 ・一級河川(支川)：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川